



始めよう+ガーデニング

寄せ植えの手順

指導：園芸研究家 中道徹三郎さん

製作：ガーデニングショップ金久 植田英子さん

大阪府泉佐野市日根野2545

☎0724-67-2413

<http://www.eonet.ne.jp/~tetsu-naka/>

色々な植物と一緒に植えるので、どれか一つが欠けてもわびしく見えるのが寄せ植えの難しいところ。コツを覚えて元気に育てましょう。

まずは自然の開花時期や生育時期、原産地の気候が似ている植物を選んで、季節感を大切にします。色々な植物を混植するため植物によって水の好き嫌いはありますが、新鮮な空気と新しい水はどんな根でも大好物です。出来るだけ水はけの良い用土を使って、水やり回数を多くします。植え付け時は根を無理にほぐさず、スペースがあれば出来るだけ土を取らずに根を傷めないで、完成したら日当たりの良い場所に初めから置けるようにするのが初心者向きです。迷ったら、一度、園芸店のスタッフや花好きの友人などに目の前で作ってもらうと分かりやすいですね。

植えてみよう！



苗： リナリア、ジュリアン、アリッサム、アイビー 計2500円程度

用土： 金久特選培養土、ひゅうが軽石 計300円程度

1 正面を決めてポットのまま振り返し、出来あがりイメージする。



2 鉢に水はけを良くする軽石を中央が盛り上がるように入れ、その上に培養土(生育に適するようにブレンドした用土)を均一に入れる。

3 苗の根を軽くほぐしたり、枯れ葉を取り除いたりする。根を傷めると花や芽がしおれる場合があるので優しく。植物の種類や植え付けの時期によってはほぐさない方がよい場合もある。



4 背の高い植物など、中心になるものから始める。植物と植物の間に土を入れながら植え込んでいく。



5 脇を飾る植物を表面の土が隠れるように植え込む。水やりを考えて、鉢のふちギリギリまで土を入れないこと。植え終えたら鉢の胴をこぶしで軽くたたき、土を均等にならす。



6 葉や花に水をかけないように注意して、鉢底から出るまでたっぷり水をやる。真ん中の方は水の出口が細い水さしが便利。